

本校の不登校生徒への対応について

不登校児童・生徒の状況

- ・令和2年度以降、本校における不登校生徒の出現率が増加
- ・通常の教室ではなく、少人数の環境で学習したいと考える生徒への対応が必要
- ・自分の体調に合わせた時間で登校したいと考える生徒への対応が必要
- ・学習の遅れを少しずつ取り戻したいと考える生徒への対応が必要

具体的な取組

I 組織力の向上

(1) 別室対応の環境を整備

空間にゆとりがあり、生徒の希望に合わせた環境で学習ができる教室を整備

(2) ICT機器活用

一人1台タブレット端末を活用し、生徒が希望する学習を推進



II 不登校生徒への対応の充実

(1) 調整機能の充実

加配教員等と別室登校の生徒とがこまめに交流し、学習内容や時間等を調整

(2) 指導体制の強化

多摩市教育活動指導員（PT）や学生ボランティア等が学習活動を支援

(3) SCとの連携の強化

III 校内体制の強化

(1) 教育相談委員会の定期的な開催

SCも含めた支援会議として教育相談委員会を定期的を開催し、情報を共有並びに対応策を検討

(2) 研修の企画

不登校に関する研修を全教職員で実施



IV 実践の成果の普及

(1) 報告会の開催

多摩市立小中学校を対象とした報告会を開催。不登校対応加配教員の配置1年目の取組について発表し、成果を普及

(2) ホームページへの掲載

不登校特例校としての取組について、本校ホームページにも掲載

成果

- (1) 校内の教室環境や支援体制の整備等を行ったことにより別室に登校できる生徒が増え、また不登校生徒の出現率が前年度より33%減少したこと
- (2) 加配教員が中心となった研修会や教育相談委員会の開催により教職員の理解が一層深まったこと

課題

- (1) 不登校生徒への学習支援をさらに充実させるための予算や人材の確保
- (2) 学習を充実させるためのICT機器活用の工夫